

# 壊されたくらし

## 新自由主義の現場から

28日の東京・上野のハローワーク前。幅広い年齢層の人たちが次々と建物の中に入っている様子。10件以上から断られた。新自由主義的な政策で雇用が破壊され、競争を強いられている実態が浮かび上がりました。(新井水利、林園子)

# ハローワーク前で

「とにかく仕事が見つからない。そうじゃないと生きられない。50代の女性には、そう訴えます。地方で家族と暮らしていましたが、経済的に厳しくなり、2カ月前に単身で上京しました。

所持金は15万円。ギリギリの中「働かなくていい」という携帯電話は、眼鏡ケースの中に大事にしまっています。仕事に就いていないためアルバイトを借りました。現在はホテル暮らし。「住所が不特定だから採用してもらえない。もう少ししたらホームレスになっと思っています」。車の運転のなかで、途方にくれます。

清掃関連でフルタイムの仕事を探し続ける(58) 東京都台東区。母の年金で数年前まで働いて

# とにかく仕事を

# アルバイト転々 ■ホームレスに...



ハローワークへ向かう人たち=28日、東京都台東区

で採用されないという男性(59)。警備など10件以上の求人を見られましたが、携帯電話を持っていないと派遣会社は相手だしてくれないと言います。一機が身分証明書がないと、持っている人だ。持っていない人は、料金未払いで解約されちゃうと大泣き。

昨年、職場で銀行に入院。今は生活保護を利用しています。「それがなきや保護の世話になる。随分切りがつかない。保険利用を二線

泣き寝入りした スーパーなどのアルバイトを転々とした。勤務先では嫌がらせやいじめに遭うことも。「派遣やバイトだと労働問題が起った時、あいつにされてしまふことが多い。これに相談したらいいかわからず泣き寝入りしていった」と話します。

1日で50人くらい処方せんが来る。一人で処理しました。昼休みが1時間ありますが、忙しい日は30分ほどしかとれません。「ご飯が食べられる15分と十分と自分では思っている」と笑顔を見せます。

人を助けられる今の仕事にやりがいを感じ、正社員をめざしています。年金で暮らせず 70代の男性は「年金だけじゃとても暮らせない。安い賃金ばかりで、いい条件の仕事が見つからない」とため息をつきます。

男性は、雇用を壊し格差を広げた労働者派遣法を批判し、「賃金を上げ、経済を成長させるべきだ」と強調します。「貧しい人、高齢者や障害者、みんなが安心できる社会にしてほしい」

新自由主義の政策が進められると、非正規雇用が増え、格差と貧困が拡大してきました。新自由主義が国民に与えている影響を、くらしや福祉などの現場からシリアスで報告します。